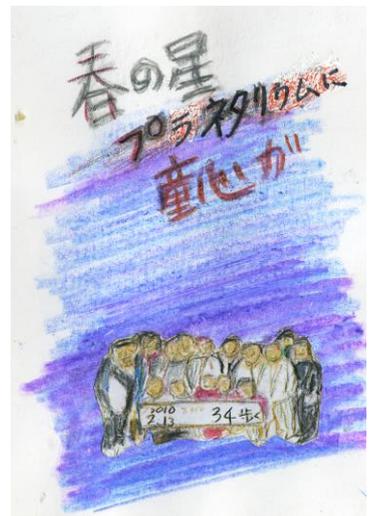


第3回34歩く会



2010年2月13日(土)

3.4 歩く会

「狭山緑地を歩く」; 歩行記

2010.0213

2010年2月13日(土)、立春から10日ほど過ぎたというのに、今朝は粉雪が舞っている。真冬の冷たい雪の降る朝、しかも今日は午前11時からバンクーバー冬季オリンピックの開会式が始まる日だ。こんな日は、暖かいこたつの中でオリンピックをテレビでゆっくり観戦したいものだ。

しかし、そんな中、9時半過ぎに、サラサラと粉雪も舞い散る東大和市駅に元気な仲間が次々に集まる。皆さんフードを被ったり、毛糸の帽子を目深に被ったり、頭の先から足元まで完全武装の人が多く、一見、誰だかわからない姿で次々に現れた。

こんな天気だと数名しか集まらないかと思っていたが、なんと17名が集めた。「年寄りの・・・」なんて言われなければ良いが・・・遠くは成田から佐々さんが、小田原からは大貫さんが、中野からは尾又さんが参加して下さった。

10時過ぎ、大貫さんの指導でストレッチ体操をやり、ミズレの中をいざ出発。

東大和市駅から野火止用水沿いに「ホテル養殖地」を歩くと、野火止用水の水面から水蒸気が白く舞上がっている。それだけ辺りが冷え込んでいるのだろう。向原公園の雑木林の中を歩くと、湿った柔らかい地面の弾力が足から伝わってきて心地よい。このお天気のせいか数名の方の足が重く、ややスローウオークだ。

第6小学校と第3中学校の間を通り、新青梅街道を横切り、空堀川に出ると、川面には真っ白な鷺と数羽の鴨が餌を漁っている。ここには未だ未だ自然が残っているようだ。清水と狭山の部落境を歩き、清水神社の先から左折し、用水の暗渠の上の道を進み、狭山公民館に到着(11:15)。ここでトイレ休憩。外が寒かったので、公民館の暖かさが何とも言えない。

狭山公民館からは円乗院の階段を上り、素晴らしい山門をくぐり、良く手入れされた綺麗な庭園を進み、立派な本堂に参拝。今日のハイキングの無事を祈って「都立東大和公園」へ。雪が降り続き、歩道の脇の木々の葉は真っ白になっており、正に雪の中のウォーキングとなり素敵な雰囲気だ。雪景色を見ながらの歩行は寒さも忘れ、神秘的な気持ちにもなる。

「都立東大和公園」として良く整備された里山の遊歩道を歩くと、弾力のある土の感触が何とも言えず快い。「こんな素敵なところが近くにあったのか・・・」と思われた方もいたようだ。雑木林の中の道をしばらく進み、やがて階段を下りると「二つ池公園」に出る。(11:45)

「二つ池公園」は、我々が小学生の頃、屋外授業で学校から山を一つ越えて散策したところだ。当時は3方を雑木林に囲まれた谷間にあり、カエルやイモリやザリガニなどが沢山生息していたところだ。そこから流れ出る水は、谷間に伸びた田んぼを潤していた。

あれから50数年経った今、周囲は所狭しと建てられた住宅に囲まれ、当時の面影は全く無い。2つあった池は1つになり、岸边はコンクリートになっている。

13時からのプラネタリウムを見たいので、ここからは少し先を急ぐことにする。殉国慰霊塔の下を通り、奈良橋川に沿って雲性寺の前を歩く。コンビニに寄って昼食を購入し、同期の小島さん宅へ(12:00)。

小島さん宅はスイス風の素敵な3階建ての家で、我々の同期の故小島道重さんが建設した家だ。小島さん宅では3階の広いリビングルームで食事をさせていただいた。小島さんの奥様からは全員に暖かい味噌汁のサービスがあり、冷えた身体には何よりのご馳走だ。

昼食後(12:45)、そこから歩いて5分の「東大和市郷土博物館」へ行き、プラネタリウムの入場券200円を券売機で1枚づつ購入。団体割引(100円)は20名以上なので今回は割引無しだ。13時5分前に入場すると、定員100名の客席は、我々を含めて約30名ほどの入場だ。プラネタリウムの番組は、東大和市郷土博物館から見た360度の景色から始まり、オリオン座やスバルなどに関する星座の物語など約40分の投影であった。

プラネタリウム終了後、博物館の常設展示場を見学した。東大和の歴史や村山貯水池の建設など、皆でワイワイガヤガヤ。小学生当時のことなどが懐かしく思い出され、話が弾んだ。なお、博物館の1階は、特別展の準備のために見られなかった。

本日のメインイベントは、この博物館の脇を登り「狭山緑地」の遊歩道を歩き、真っ白な富士山を眺める予定であったが、今日はミソレや粉雪が舞うお天気であり、地面が柔らかく、木道も濡れて滑りやすくなっているため、「狭山緑地」のハイキングは断念することにした。そこで、博物館から再び小島さん宅の1階の喫茶店「BENA」に戻る。(14:15)

喫茶店「BENA」は高価な家具に囲まれ、高価な白クマの敷物の上や高級な椅子に座らせていただき、特製のコーヒーをいただく。

15時に小島宅を出発し、市役所脇を通り、2次会の会場「加賀」に到着(15:30)。これまで本日の歩数は約11000歩であった。「加賀」には飯塚氏や木村氏も加わり、全員完歩を祝して乾杯ーイ！冷たいビールのなんと旨いこと！

テーブルには、芋窪の農家から仕入れたという大根や人参ゴボウなどをたっぷり使った料理や手作りのハンバーグなどの料理が盛りだくさんに並ぶ。

今日のウォーキングは「狭山緑地」の遊歩道や「二つ池公園」など、最近歩いたことがなかった人が多く、また博物館での学習など良い体験になり、更に小雪の舞う中であつたので、良い思い出になったのではないだろうか。

席上、次回のウォーキングの相談をし、いろいろな案が出た。その結果、次回は5月11日(土)に「新緑の玉川上水を巡る」に決定した。このコースは、東大和市駅を出発して玉川上水駅を經由し、玉川上水に沿って東進して小金井公園までの約11kmだ。このコースも「ふれあい下水道館」「平櫛田中美術館」や「江戸東京たてももの園」など体験や学習できるところがある。しかしながら、今日の歩行ペースでは小金井公園まで行けることやら・・・、一橋学園駅あたりまでか？

秋の例会としては、上北台——狭山遊歩道——かたくりの湯——トンネルウォークの案などが出た。

おしゃべりは尽きないが、19時半、次回の再会を約束してお開き。

川鍋 正義